

2022-03 経営協議会議事概要

日時 令和4年9月16日（金）13:30～15:30

場所 事務局棟2階 大会議室

【一部の構成員等（※を付した者）はオンラインで出席】

出席者 伊藤学長（議長）

志田、※末松、高木、※徳田、二井、丸山、向井、※横山、渡辺 各学外委員
鶴原、緒方、尾西、今西、池田、木下 各学内委員

欠席者 廣田 学外委員

西岡、田中 各学内委員

陪席者 服部、小川 各監事

酒井 副理事

野崎、藤田、村田 各副学長

◆議事概要の確認

2022-01（6月3日開催）及び2022-02（6月24日）の議事概要（案）について、了承された。

I 審議事項

1. 令和4年度国立大学法人ガバナンス・コードにかかる実施状況等に対する意見について
尾西理事から、「資料：審-1、参考資料1、2」に基づき、各学外委員に事前に照会した本学の国立大学法人ガバナンス・コードにかかる実施状況に対する意見を、経営協議会の意見として確定し、今後、確定された意見に対する本学の対応を追記した上で、「国立大学法人ガバナンス・コードにかかる適合状況等に関する報告書」を10月下旬に公表する予定であるとの説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

<主な意見>

- 学長の評価は、短絡的に成果を追い求めすぎないように、2年ごとに行うこととしており、個人的には不適合とは考えていない。今後は、業務の実績報告書や監事報告書だけで評価するのではなく、学長自身にも学長選考・監察会議に出席していただき、その中で業務実績や自己評価についてのヒアリングを行うなどして、より適切に学長の評価ができる制度を検討していきたい。
2. 第3期中期目標期間積立金の繰越承認による予算の追加配分について
尾西理事から、「資料：審-2」に基づき、第3期における積立金の第4期への繰越が承認されたことを受け、令和3年度目的積立金の大学分を正門周辺整備事業に、附属病院分を先端治療施設・設備整備事業に活用することについて説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

3. その他
なし

II 報告事項

1. 令和5年度概算要求について

尾西理事から、「資料：報－1」に基づき、7月中旬に文部科学省へ提出した令和5年度概算要求の最終版及び文部科学省から財務省へ提出された本学の概算要求の計数について報告があった。

2. 三重大学教員による研究費の不正使用について

尾西理事から、「資料：報－2」に基づき、財務部による書類確認により発覚した当該不正事案に係る経緯や調査委員会の調査結果、今後の対応等について報告があり、以後同様の事案が発生しないよう、全学をあげて不正の根絶に取り組んでいくとの発言があった。

<主な意見>

- このような事案が続くのは良いことではないが、発生した事案を正直に公表し、不正を不正と認識していくことが、コンプライアンスの強化に繋がると思う。
- 今回の事案は内部統制機能によって発覚したので、ガバナンスが機能している結果とも考えられる。
- 担当者に任せきりの状況では不正事案が起りやすいため、しっかりとしたチェック体制を築いてほしい。また、今回の不正事案の原因はどこにあるのか。
→ 当該教員は、教育研究が忙しく事務処理をする時間がなかったと述べているが、コンプライアンス意識が低かったということがそもそもの原因である。
- 多忙であるということが今回の不正事案の背景にあるのではないか。チェック体制の強化となると、手続きが煩雑化・複雑化する傾向にあるが、DXを進めるなどして、手続きをなるべく簡素化する方向で、チェック体制を検討していただきたい。
- 内部監査等は実施されているのか。
→ 監査チームによる監査と、監事による監査が実施されている。賃金を支払う際は、教員又は事務補佐員がシステムに入力した後、当該学部の総務チームがそれを確認し、本部事務局においてもチェックを行うという仕組みになっているが、今後はそれぞれのチェック体制をさらに強化することが必要と考えている。

3. その他

(1) 次回開催について

2023年1月20日(金) 15:00～

III 意見交換

1. 理工系女子学生の確保等に向けた取り組みについて

はじめに、渡辺委員からテーマの提案理由について説明があり、続いて尾西理事及び

藤田副学長から、「資料：意－１」に基づき、教育未来創造会議の提言内容及び本学の現状と取り組みについて説明があった後、種々意見交換を行った。

<主な意見>

- 理工系女子学生確保のために、ぜひ推薦入試等を活用していただきたい。
- 高大連携サマーセミナーや出前授業等は、女子生徒が理系分野に関心を持つよい機会となっており、このような取り組みを引き続き進めていただきたい。
- 理系分野を学んでいる女子学生が高校生と関わる機会を増やしていただきたい。
- 最近では、早い段階で将来のことを話し合っている家庭が多いため、中学生を対象とした出前授業等を拡充していただくとありがたい。
- 高大だけではなく、中高大の連携についても進めていきたい。
- 工学部の女子学生数を増やすということであれば、オープンキャンパス等で、工学部の学生の卒業後の進路を紹介してはどうか。
- 女性が力を発揮できる環境を整備し、女性の活躍を推進することが肝要である。
- ダイバーシティの話になると、管理職に占める女性の割合の目標値など、結果論が先行することが多いが、女性のキャリアパスの多様化・多角化を進めていかないと、本当の意味での女性の活躍推進とは言えないのではないか。

2. コロナ禍における学生満足度と学生支援について

はじめに、渡辺委員からテーマの提案理由について説明があり、続いて野崎副学長から、「資料：意－２」に基づき、学生満足度調査の結果及び本学の学生支援の取り組みについて説明があった後、種々意見交換を行った。

<主な意見>

- オンラインを活用しながら、様々な支援を行ってこられたことに、頭が下がる思いである。オンラインを取り入れながらいかに学生支援を充実させていくのか、引き続きご報告いただきたい。

3. 今後の三重大学における経営改革について

尾西理事から、「資料：意－３」に基づき、現在検討を進めている、学内における資源再配分及び全学的な組織改革を柱とした「AI・DXを基盤とした経営改革」構想について説明があった後、種々意見交換を行った。

4. その他

なし

以上